

平成 25 年度番組審議委員会議事録

日時：平成 25 年 3 月 15 日 13 時 00 分～14 時 00 分

場所：株式会社ジェイコムウエスト東大阪局 4 階会議室

参加者：＜審議委員＞ 杉山恵三、金星三代子、川口哲秀、加茂守一、増田大三、汐崎正典

＜事務局＞ 脇阪博人、石塚淳、遠藤久

(敬称略)

1) 報告事項

1-1 会社概況・多チャンネル・新サービス報告 (脇阪)

1-2 コミュニティチャンネル概況報告 (石塚)

2) 審議 (ご意見・ご要望)

① 新番組「おちやのこ SaiSai」の放送時間や PR 方法について

(委員) 新番組「おちやのこ SaiSai」をなぜ 16 時にしたのか？

(事務局) 民放局でも激戦区の時間帯です。番組は主婦層をターゲットにしていますが、民放局にはないケーブルテレビの地域性・情報量を生かした番組を放送することで新たな生活の提案が可能ではないかと考えたからです。

(委員) 2 月から新番組が始まっていることを知らなかった。情報発信不足・PR 不足ではないか？

(委員) ガイド誌への掲載やガイド誌の一番上に案内を置き発送するなど工夫できたのではないか？

(委員) コミチャンの他の番組内でも PR すればよいのではないか？

(事務局) ガイド誌や自主制作番組内で PR してはいるが、ご認識いただけなかったことは PR 不足もあると考えております。今後はガイド誌の有効な利用方法も検討していきます。

(委員) 視聴率がわからないといい番組かどうかの判断が出来ないのではないか？

(事務局) 視聴率だけでなく何をもって番組の良し悪しを判断するかは非常に難しいと思いますが、視聴率を取る際には、判断材料にさせていただきます。

(委員) 全国区の民放とは違う番組作りをお願いしたい。

(委員) レポーターが騒がしく感じる時がある。レポーターがメインではなく地域をメインで番組を制作していただきたい。「ふわっと欣様」は出演者が自然体で見やすい。

(事務局) 真摯に受け止め、今後の番組作りに活かしていきます。

② 災害時の対応について

(委員) 去年要望した緊急情報システムを実施していただきありがとうございます。

(委員) 緊急時の避難場所などわからない人も多いので災害時の情報提供は、地上波ではなく地元密着のジェイコムのコミチャンで実施すべきである。

(事務局) 災害情報は弊社でも対応しますが、東大阪市とも連携し速やかな緊急情報が提供できるように努めて参ります。

③ 高齢者への配慮について

(委員) 出演者は外来語を多用するのではなく日本語で分かりやすく伝えて欲しい。

(委員) 「おちやのこ SaiSai」が 16 時という時間帯であれば高齢者向けの内容を主にしてはどうか。

(事務局) 「おちやのこ SaiSai」でも元気な高齢者などをご紹介しますコーナーがあります。

ご要望を承り、見やすく愛される番組・サービスを目指していきます。